

共同研究成果の発表について

もと湿地の水田が洪水の発生を抑制する ～生態系を利用した防災・減災を考慮した土地利用の実現に貢献～

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村林 聡)は、弊社研究員が参画した共同研究成果が、3月18日付で Elsevier^{*1}が発行する英文誌「Ecological Indicators」に発表されたことをお知らせ致します。

この共同研究は、首都大学東京大学院 都市環境科学研究科の大澤剛士准教授、京都産業大学 生命科学部の西田貴明准教授、弊社 政策研究事業本部大阪本部の遠香尚史主任研究員による研究チームが実施したもので、日本全国に存在する生態系:半自然環境である水田に注目し、長期的な洪水災害の発生データと、水田の立地条件の関係を検討することで、表層水を受け入れやすい地形条件下に水田が存在する、すなわちもともと湿地であったと考えられる場所に水田が存在すると、陸水由来の洪水が発生しにくい傾向があることを明らかにしました。

研究の詳細は、[こちら\(首都大学東京 web サイト\)](#)をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
研究開発第1部 [大阪] 主任研究員 遠香尚史
〒530-8213 大阪府大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA
TEL: 06-7637-1460 E-mail: takashi.oka@murc.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 梨子本 TEL: 06-7637-1430 E-mail: info@murc.jp

^{*1} オランダ、アムステルダムに本拠地を置き、医学・科学技術関係を中心に扱う国際的出版社の一つ。